

2025 年度 東北公益文科大学

編入学選抜（B 日程）試験問題

小 論 文

受験 番 号								氏 名	
--------------	--	--	--	--	--	--	--	------------	--

受験上の注意

- ① 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いたり裏返したりしてはいけません。
- ② 机の上に置いてよいものは、受験票、筆記用具（鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆キャップ、鉛筆削り）、眼鏡、ハンカチ、薬、ティシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）、時計のみです。なお、時計は計時機能だけのものに限りです。
- ③ 携帯電話及びスマートフォン等の電源は必ず切ってください。
- ④ 小論文の問題は見開き 1 ページです。
- ⑤ 解答用紙は 1 枚です。
- ⑥ 受験番号と氏名は、問題冊子及び解答用紙のそれぞれ所定の欄に必ず記入してください。
- ⑦ 問題の解答時間は 70 分です。
- ⑧ 解答は別紙の横書きの解答用紙に 600 字以内でまとめてください。
- ⑨ 問題冊子の余白は下書きに用いてもかまいません。
- ⑩ 解答用紙の余白及び裏面には何も書いてはいけません。
- ⑪ 問題に疑問のある場合は黙って手を挙げてください。ただし、問題の内容に関する質問については受け付けない場合があります。
- ⑫ 試験中に気分が悪くなった時やトイレに行きたくなった時は、手を挙げて係員の指示に従ってください。
- ⑬ 印刷に不鮮明な箇所がある場合は、黙って手を挙げてください。
- ⑭ 解答用紙は汚れても新しいものとは交換しません。そのまま提出してください。
- ⑮ 解答終了の合図で、筆記用具を置いてください。
- ⑯ 係員が答案用紙の回収を終えるまで、席を立たないでください。
- ⑰ 問題冊子は試験終了後持ち帰ってください。

次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

21 世紀への前年である 2000 年に、世界における極度の貧困を削減することなどを議題として国連ミレニアムサミットが開催され、それまでのいくつかの国際会議で確認されてきた事項をまとめて 8 項目の MDGs（ミレニアム開発目標）が掲げられ、全加盟国が 2015 年までに達成することに合意した。すなわち①極度の貧困と飢餓の撲滅、②普遍的な初等教育の達成、③ジェンダー平等の推進と女性の地位の向上、④乳幼児死亡率の削減、⑤妊産婦の健康の改善、⑥HIV／エイズ、マラリア、その他の疾病のまん延防止、⑦環境の持続可能性の確保、⑧開発のためのグローバルパートナーシップの 8 つである。これらの目標（ゴール）ごとに具体的なターゲットが定められ、たとえば、①の貧困の削減目標については「2015 年までに 1 日 1.25 米ドル未満で生活する人口の割合を 1990 年の水準の半数に減少させる」ことが目指された。

それから 15 年が経ち、2015 年 9 月の国連サミットで、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が合意され、2030 年を目標とする SDGs（持続可能な開発目標）が作成された。MDGs を引き継ぎつつ新しい課題を加えて 17 のゴールが設定されている。すなわち、①貧困、②飢餓、③健康と福祉、④教育、⑤ジェンダー平等、⑥安全な水とトイレ、⑦エネルギー、⑧働きがいのある経済、⑨産業と技術革新、⑩格差不平等の是正、⑪居住性、⑫持続可能な生産と消費、⑬気候変動、⑭海洋と海洋資源、⑮陸上生態系、⑯平和と公正、⑰パートナーシップである。

MDGs が主に発展途上国での解決課題であったのに対して、SDGs はどの国にとっても取り組む必要がある普遍的な目標へと拡張された。取り組みを進める主体も政府や NGO だけでなく、企業や学校、そしてまた NPO、住民組織、ボランティア等の市民団体が、それぞれの立場で可能な取り組みを進めることになった。そして、国連の機関である UNDP（国連開発計画）が、SDGs の達成に向けた世界の活動を方向づけ、計画化、支援を行っている。

ゴールとターゲットの体系によって成果を目指すシステムは MDGs から引き継がれており、17 のゴールに対して全部で 169 のターゲットが設定された。たとえば、①の貧困の撲滅では、7 つのターゲットが設定されており、そのうち一部を引用すると、「1.1 2030 年までに、現在 1 日 1.25 米ドル未満で生活する人びとと定義されている極度の貧困をあらゆる場所で終わらせる。1.2 2030 年までに各国定義によるあらゆる次元の貧困状態にある、全ての年齢の男性、女性、子供の割合を半減させる。1.3 各国において最低限の基準を含む適切な社会保障制度及び対策を実施し、2030 年までに貧困層及び脆弱層に対し十分な保護を達成する」などとなっている。また、③の健康と福祉では、妊産婦や新生児死亡の削減、伝染病の根絶などが定められている。

MDGs では、2015 年までに 1 日 1.25 米ドル未満で生活する人口の割合を 1990 年の水準の半数に減少させることが目標とされていた。2015 年の最終報告書では、その水準未満の人口は、19 億人（1990 年）から 8 億 3600 万人（2015 年）へと半数以下に減少したと記されており、数字的には達成された。しかし、地域的なアンバランスが課題として残された。中国やインドでの経済成長が一定の効果をもたらした半面で、南アジアやサハラ以南のアフリカではほとんど改善がみられないのである。このため、SDGs では、「あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符をうつ」ことが新たな目標とされたのである。

参考文献

坂田周一『社会福祉政策——原理と展開』（有斐閣、2020 年）287－289 頁より抜粋

問 MDGs と比較して SDGs において拡張された目標についてあなたの意見を 600 字以内で説明してください。